

最盛期の北海道

1月19日～23日の日程で北海道旭川に日本産の広葉樹原木の仕入れに出かけて来ました。入札会場の参加人数は小生の経験では15年位昔の最盛期の80%位ではないかと思えます。又展示会場は3か所に分かれていました。(遠い2か所の展示場の写真です。)



今回の市は例年通り東京大学演習林材を含む官材700立方・民材2700立方の合計3400立方の大量出品では有りましたが、広葉樹の王様のナラ材とタモ材の良質材は殆ど皆無に近い状態でした。しかし北海道の大手製材工場は全ての樹種に積極的に手当てをしていました。ナラ・タモの目が荒く固い材質の原木は勿論シラタが少し大きな原木まで買いつけていました。元落ち率2.4%と言う数字が表すような原木高の製品安『今までの製品安の状況では無い。現在の状況は高品質の材は超品不足で値段は高い、そうかと言って現在の材木屋の流通では高品質でも値段が高すぎる為に中間マージンが取れないので多少品質を落としても価格に合う製品を作っている状況です。』の結果だと思えます。

服部商店は北海道産の品質が低い割に高い値段の材の買い付けは見送りました。シラタが厚く、材質が固く、お値段も高い北海道産のナラよりシラタも薄く材質も柔らかく又価格も比較的安いホワイトオーク・レッドオークの方が御客様に対して正しいと考えているからです。又今期はコストパフォーマンスの高いアメリカ材の買い付けに成功しています。良質のナラ・タモ材の在庫はまだ多く持ち合わせているお蔭で冷静な頭で入札に参加出来たと思えます。

今回買い付けた主な材は以下の『セン・キハダ・サクラ・ホオ・クルミ・クリ・シナ・バッコヤナギ・イチイ・ナラ』10樹種です。

ほんの少しだけ希少価値の有る材も出品されています。出品総本数12,000本の中の1~2本程度ですが写真を見て下さい。右の写真の原木は車1台が楽に買う事が出来ます。大阪の突き板業者の方が落札していました。→日本にしかないサクラ色の樹種マカバ材です。→写真参考・マカバ材(東京大学演習林)



しかしどうしようもない材も出品されています。右の写真はナラ材の空洞です。パルプにしかない材質です。この原木は元落ちでした。

2月～6月迄開催される北海道の市には全部参加しようと考えています。その心とはアメリカ材を積極的に商うにしても日本中の材木業者はライバルです。そのライバルに負けない為に情報が必要です。それを集めるのに最適な場所が北海道旭川です。来月号以降で何故なのかを解りやすく説明させて頂きます。楽しみにして下さい。



ジョージナカジマ様訪問

木作りの商いをされている方達はジョージナカジマのお名前を聞いただけで直ぐ理解される方が殆どだと思いますが、工房を訪問した方はそんなに多くないと思います。

小生は先月12月にアメリカに広葉樹原木の買い付けに出かけたとき、ニューヨーク近辺まで出かけていました。アメリカでお世話になっている知人にアポイントを取って頂き工房の一部を見て来ました。

娘様とお孫様にお目にかかり製作現場の一部を見せて頂きました。



左の写真はジョージナカジマ様の娘様です。右はその息子様です。左の娘様のバックに有るのはブラックウオールナットの衝立です。確か厚みは40ミリ位だと思います。右のお孫様のバックはレッドオークの立木です。凄く立派な立木です。



工房の敷地内は凄く多くの広葉樹に囲まれた物作りには最適な環境です。立木が素晴らしい木ばかりでは有りません。勿論ジョージナカジマさんの使用されるブラックウオールナットの立木は有りませんが、このような環境が保全されている理由は先の戦争に遭遇していないからだだと思います。正直太平洋戦争前の大阪を知らないで具体的なコメントは出来ませんが、多分木に霊が宿ると考える日本人は立派な立木が有れば守って育てていたと思いますが、残念ながら戦争で殆ど焦土になってしまった大阪にこのような素晴らしい環境を望むのは無理でしょう。

ところでグラウンドデザインの無い現在の街づくり、住まい作りに小生は一言警告をしたいと思います。20年~50年先の日本人の本当に欲しがっているグラウンドデザイン『人口減少社会では土地が余ってきます。その象徴が現在の空き家の急激な増加です。マッチ箱の様な住まい作りを辞めて最低100坪以下の敷地

以外は建築を認めないと言う政策を進めるのは如何でしょう。勿論土地・建物に対するコストと税金を今よりはるかに安くしたり減免するような仕組みは絶対に必要ですが、将来空き家が増えて利用されない土地が凄く増える事は現在の人口減少社会が進んでいけば、日本中に所謂スラム化の心配が有ると思います。又、治安の問題に発展するかも知れません。小さな区画の住まい作りから少し大きめの住まい作りに変化していけば老朽化するライフラインのリニューアル費用はコンパクトシティになりコスト低減を実行する一つの方法ではないでしょうか』を描く事を忘れてはいませんか。

ところで国立競技場を多くのスギ・カラマツで作るのは大賛成です。有り余っているスギ・カラマツを大量に使う事により、次に違うオプションが有るはずですが、伐採した林に又スギを植林するのではなく、日本各地に東京の明治神宮『日本人が手掛けた天然に近い森林を作る壮大な 150 年以上掛る大プロジェクト』の様な森林を作ってほしいと思います。そうすれば、ジョージナカジマさんの様な世界的なアーティストが色々なジャンルに生まれて、本当の意味の日本の成長『物作り産業一辺倒からイノベーションを生むソフト産業への人作りの環境整備が実現する。』し現在の中国人の爆買に見られる偏ったインバウンドからバランスの良いインバウンドが形成され、東京オリンピック後も均衡ある日本の発展に繋がるのではないかと思います。

我が国の木材は、世界一の品質ですが、すでにその優秀な木は極一部を除いて枯渇しました。しかし林作りでは無く森林作りをすれば輝く日本に蘇ります。

日本は木に関しては世界的に優れた民族です。しかし残念ながら我々の財産はスギ・ヒノキばかりの林になり下がったのです。色々な木が有る事で、生態系が守られ人間の肉体的・精神的健康増進が図られるのです。仮に現在の日本にジョージナカジマさんの工房の有る様な環境が有れば、日本のステーブジョブス・ビルゲイツみたいな世界を引っ張っていく人材が生まれるのではないかと思います。右の写真はジョージナカジマさんのお店で購入したゴールデン・フィッシュ（金魚）です。60ドルでした。服部商店の事務所に飾っています。是非見に来て下さい。



同工房の中の写真撮影は禁止されていたので、小生の記憶だけを報告致します。テーブルトップの仕上り厚みは30ミリ～35ミリ前後です。ベンチは45ミリでした。決して重厚な厚みでは有りませんでした。商品自身に上品さが醸し出されていたと思います。テーブルトップの表面はキズ等の欠点の有る材でしたが、木自身は良い木を使っていたと思います。小生は木のサイドを見ました。天面にキズが有ってもサイドは真っ直ぐでした。と言う事は真っ直ぐな木を使っていた証拠なのです。又裏面のソリ止めは脚の裏に埋めている形の作りに見えました。

服部商店の御客様にアメリカ出張のお土産のストラップを無償で提供して頂きました。そのお土産をジョージナカジマ様の娘さんに渡してきました。凄く喜んで頂きました。

アメリカ情報

アメリカ広葉樹のホワイトアッシュ材が危機的な状況に陥っています。聞くところによると1990年代中国から自動車のパーツの箱に隠れてきた侵襲的な昆虫種虫（エメラルドアッシュボラー）がアメリカ中のホワイトアッシュの森に大打撃を与えているそうです。

立木の段階で木の中（樹皮と表皮の間に卵を産み付けられてしまうので、材の中で孵化した虫は、当然の事ながら周囲のおいしい木を食べます。ホワイトアッシュはシラタが良いとされている樹種です。シラタは本当に弱い部位です。そのシラタを食べつくし立ち枯れを起こしてしまうのです。

2002年まで見つからずに繁殖してしまいました。そして14もの州とカナダに隣接した地域に広がってしまい、2013年現在5000万本から1億本のホワイトアッシュの樹木を駄目にしてしまいました。

又本年度からヨーロッパ諸国はホワイトアッシュ材原木輸入の制限を施工するとの話もあり、ロシア材のタモ材の高騰と相まってタモ・アッシュ系の樹種がマーケットから消え去る可能性が出て来ました。

日本国内でアッシュを使用する場合、北陸地方の湿気の凄く多い住まいの窓枠に使うと、虫が着きやすいと木材商社の営業から聞いたことは有ります。この話とアメリカの虫の話は別ですが、普通に考えればシラタが好まれるアッシュより赤身が好まれるレッドオークに需要が移る事は木材の価値『赤身とシラタの関係・シラタが好まれるハードメープル等の一部樹種を除くと広葉樹は赤身が好まれるのは当然だし強度等の事で赤身を使用の方がベターとされています』からみて、ごく当たり前の事だと思います。

以前はアッシュ原木の価格はレッドオーク原木より安かったのですが今回の出張ではアッシュ原木（17インチアンダー）とレッドオーク原木（20インチアップ）が12月同じ価格でした。アッシュ原木の価格は上昇しています。

2016年度以降ホワイトアッシュ材は服部商店の主力在庫から外すことと致します。

第15回服部商店勉強会

3月5日（土曜日）に第15回服部商店勉強会を開催します。今回はノーザンレッドオークの製材を見て頂きます。ホワイトアッシュ材の先行きが全く見通せなくなってしまった昨今の状況を考えると、レッドオークが広葉樹の主体にならざるを得ないと思います。ウイスコンシンのノーザンレッドオークとペンシルバニアのレッドオークをご用意していますが、服部商店の主力製品にするべくウイスコンシンのノーザンレッドオークの製材を見て頂きます。



感謝セール

2月1日（月曜日）～3月5日（土曜日）迄1回のお買い上げ金額が10,000円以上のリピーターの御客様に限り5%の特別ご奉仕を致します。初めての方は2回目以降が対象です。

又勉強会当日は原木が大量に入荷している為に今回、展示即売会は出来ません。しかし遠方からお見えになる方もいらっしゃるの、当日来て頂ける方で確実に購入して頂ける商品が決まっている方だけにプラス0.5%の割増セールを行います。（合計5.5%のキャッシュバックです。）

この5.5%の割引対象者は勉強会の1週間前から2月27日～3月4日まで受付を実施します。当日必ず来てください。途中で来られなかった方は申し訳ありませんが5.5%→5%にダウンさせていただきます。

購入頂ける方は前もって商品を出しておきます。（申し訳ありませんがその時点でのキャンセルは受け付けません。）お持ち帰りの方は勉強会終了後積み込み致します。遠方の方は後日お送り致します。（運賃は御客様持ち）

当日カップヌードルとお茶を用意したいと思っていますので、別紙にご記入の上FAXかメールでご連絡頂けます様お願い致します。

F A X 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7

masaaki@hattoriwood.co.jp



アンケートをお願いします。

1、第15回服部商店勉強会に参加したい。

はい

いいえ

2、当日5.5%キャッシュバックの商品を購入したい。

はい

いいえ

会社名	
担当者名と人数	
ご住所	
T E L	
E-mail・FAX	
購入予定商品 樹種・品番をご記入下さい。	
購入予定商品 樹種・品番をご記入下さい。	

596-0011

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町 16-1

(株)服部商店

T E L 072-438-0173・0511

服部雅章